

R4 要求事項 (リクワイヤメント) ※業務

※赤字：R3からの変更箇所

項目	実施目的 (例)	適用が見込まれる場合
<p>継続</p> <p>①可視化による設計選択肢の比較評価 (配置計画案の比較等)</p>	配置計画等の事業計画をBIM/CIMモデルにより可視化し、経済性、構造的性、施工性、環境景観性、維持管理の観点から合理的に評価・分析することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> • 地形の起伏が大きい等、地形が複雑で2次元図面のみでは合理的な評価等が難しい場合 • 耐震補強設計において、既設構造物との取り合いが複雑で2次元図面のみでは施工性、景観性等の評価が難しい場合
<p>継続</p> <p>②リスクに関するシミュレーション (地質、騒音、浸水、既設構造物への影響等)</p>	地質・土質モデルにより地質・土質上の課題等を容易に把握し、後工程におけるリスクを軽減するための対策につなげることを目的とする。	後工程における手戻り (現地不整合等に伴う再検討、クレーン等による工事中止等) による影響が大きいと考えられる場合
<p>継続</p> <p>③対外説明 (関係者協議、住民説明、広報等)</p>	対外説明において、BIM/CIMモデルにより分かりやすく事業計画を説明することにより、円滑かつ確実に合意形成を図ることを目的とする。	地形や工事目的物の形状が複雑であり、2次元図面だけでは完成形状の説明が難しい場合
<p>継続</p> <p>④概算工事費の算出 (工区割りによる分割を考慮)</p>	簡易的なBIM/CIMモデルに概算単価等のコスト情報を紐付けることで、工区割り範囲の概算工事費を速やかに把握できることを目的とする。	煩雑な工区割り作業が見込まれる場合
<p>継続</p> <p>⑤ 4Dモデルによる施工計画等の検討</p>	工事発注時における合理的な工期設定、施工段階における円滑な受発注者協議等を目的とする。	施工条件が複雑であり、2次元図面のみによる協議等が難しい場合 (多くの現道切り回しを順次実施する必要がある等)
<p>継続</p> <p>⑥複数業務・工事を統合した工程管理及び情報共有</p>	複数業務・工事間で共有すべき情報又は引き継ぐべき情報を関係者間で適切に共有し、迅速かつ確実な合意形成を図ることにより、手戻りなく円滑に事業を実施することを目的とする。	複数業務・工事間の調整事項が多い又は合意形成を図る必要性が高い場合
<p>新規 (測量業務に適用)</p> <p>⑦既存地形及び地物の3次元データ作成</p>	現況地形の点群データを取得し、3次元データを作成することで、後工程の詳細設計に円滑なデータ受け渡しを行うことを目的とする。	地形が複雑な場合など3次元的に地形を把握する必要性が高い場合